

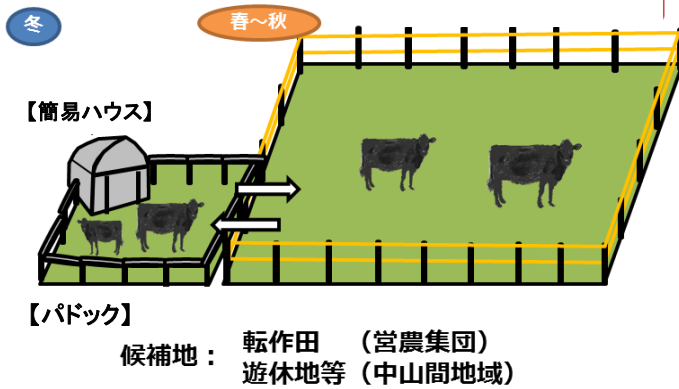


牛舎がなくても繁殖牛が飼えます！

- ・耕作放棄地の周年放牧で若狭牛の母牛を飼育し、子牛を生ませました。
- ・子牛も周年放牧で飼育したところ、市場で約70万円で売れました。

* 冬場の分娩や飼料の保管用として簡易ハウスを作りました。

周年放牧イメージ図



- * 簡易ハウスを建て、周囲にパドックを作ります。
- * 放牧地は電気牧柵で囲います。

1頭当たりの必要面積

- * 野草放牧地: 80~300a (草種によってばらつき大)
- * 牧草放牧地: 50a (オーチャードグラス・ペレニアルライグラス等)

通常の牛舎に比べ安い簡易ハウス

- ・ハウス部品代：62万円
- ・内装部品代：13万円
- ・放牧パドック部品代：9万円
- ・工賃(業者委託の場合)：23万円 計：107万円

7m×10mのビニールハウス



単管パイプで作ったパドック



ハウス内は単管パイプで保護

繁殖牛を放牧することで、耕作放棄地や荒地の雑草対策ができます。



繁殖牛が雑草を食べている状態



放牧地周囲に電気牧柵を設置し、繁殖牛が逃げないようにします。



子牛の哺乳



出荷時の子牛

表1. 放牧牛から生まれた子牛の成績

生年月日	生時体重	性	日齢	日齢体重*	出荷時体重	市場価格**
H29.12.9	31kg	雌	292日	1.0	291kg	69.2万円
H29.12.20	45kg	雄	281日	1.0	282kg	75.5万円

* : 体重/日齢(発育状態を示すもので、1.0以上で良好な発育)

** : 子牛市場市場の平均価格は66.2万円

平成30年9月27日開催の北陸三県和牛子牛市場にて

子牛は、放牧だけで育成したにもかかわらず日齢体重が1.0以上となり、良好に発育しました。



冬期の放牧でも丈夫な子牛が育ちます！

【繁殖牛の導入には】

- ①嶺南牧場が行っている妊娠経産牛の払い下げ
 - ②経済連が行っている和牛繁殖(委託)事業
 - ③子牛市場で購入した雌子牛を育成する
- 等の方法があります。

特に①は、放牧開始1年後には子牛の販売が可能です。

平成30年11月掲載